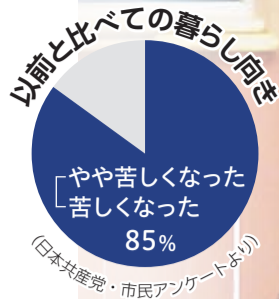


コロナ、物価高騰、消費税増税で中小業者は3重苦

コロナ、物価・原材料の高騰、消費税増税の「三重苦」が中小業者に重くのしかかっている。これら三重苦は政治の責任そのもの。



医療・介護現場は人手不足で大変

コロナ4年目。医療従事者、福祉関係者の待遇をもっとよくしないと現場は持たない。



- 国保料引き下げ、介護の負担軽減、物価高に見合うよう年金引き上げ

子育て支援3つのゼロ

- 医療費は18歳まで無料に
保育料・給食費も無償に
- 中小企業支援とセットで最低賃金を引き上げ
- 消費税は5%に減税、インボイスは中止
- 米価下落対策、畜産・酪農の危機打開を
- 男女の賃金格差是正、ジェンダー平等社会の実現
- 予期せぬ自然災害に備え、防災・減災対策の充実

真の安全保障は農家応援、食料自給率の向上

政府はアメリカ産米を1俵1万5300円で輸入し、10分の1の値段で飼料用米として売っている。国産米は約1万円なのに。



軍事費倍増・大增税 岸田政権ノーの声を出雲から

軍事栄えて民滅ぶ国にしては絶対ダメ

戦争の足音が近づいている。トマホーク400発購入に2000億円などとんでもない。医療、教育、暮らしにこそ税金を。

Voice



敵基地攻撃 日本全土が戦場化

岸田政権の大軍拡には、美保基地や出雲駐屯地を含む全国の自衛隊基地の「強靱化」も。

日本の敵基地攻撃によって、自衛隊基地が攻撃されることを前提にした計画です。つまり、生活の場に戦火が及ぶことが想定されているのです。

いま必要なのは憲法9条いかした対話の外交

戦争をおこさないための外交に知恵と力を尽くすことこそ、政治のやるべき仕事です。日本共産党は結党以来100年、反戦平和をつらぬいてきた党の存在意義をかけて、戦争ではなく、平和の準備を行うよう求めます。

あなたの願いにこたえる党は？

県議会の態度 ○賛成 ×反対

	共産	自民	公明	民主	無党派
インボイス制度中止の請願(2021年9月議会)	○	×	×	×	×
コロナ禍における少人数学級維持を求める請願(2021年2月議会)	○	×	×	×	×
議員の期末手当(賞与)引き上げの議案(2022年11月議会)	×	○	○	○	○

自民党や地方政治と統一協会との癒着一掃を

島根では、自民党県議5人が関連団体の一員だったことが明らかに。自民党県連は県議の予定候補に接点や関係を断ったかどうかの意思を確認しないという始末です。他にも、立憲民主党の県議がイベントに出席。

議会と行政を厳しくチェック

統一協会との関係性の徹底究明と被害者の救済を求めて県へ要請(写真)し、議会でもくり返し追及。政務活動費のすべてに領収書を添付するなど、厳格化を要求し実現しました。

Check!



日本共産党は住民の声を届け政治を動かしています

願い実現まであきらめない

コロナ対策では、医療、介護、福祉団体のみなさんと何度も申し入れ。無料検査センターの設置や病院や福祉施設、学校への検査キットの配布、飲食店など事業者への一時金や病院、介護事業所、保育所などへの応援金の支給が実現しました。

Never give up!



観光協会と意見交換(2020年6月)

国の悪政から住民を守る防波堤

出雲市では、国民健康保険料が高くて払えず、約1300世帯が保険料を滞納。介護保険料の未納者は約400人にもなっています。福祉に冷たい予算・決算など、日本共産党以外、知事になんでも賛成の議員では、県民の暮らしを守ることはできません。日本共産党は、高い保険料の引き下げを一貫して求めています。

Protect!